

校訓  
至誠励業  
剛健成風  
操守堅固



発行所  
東京福中・福高同窓会  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿7-21-21  
西新宿成和ビル3F  
黒永会計事務所内  
TEL 03-3363-0118  
FAX 03-3363-0366  
Eメール  
office@tokyo-fukuchufukkou.jp

《活躍する同窓の仲間たち》

いくつになっても

「新しいことを知る」っておもしろい!

脚本家 伴一彦さん(高25回)

1980年代から、数多くのテレビドラマや映画の脚本を手がける伴一彦さん。その作品は「パパはニュースキャスター」や「スチュワーズ刑事」など、ホームドラマから刑事・政治ものまで、幅広いジャンルにおよぶ。脚本執筆の際には、リアリティを求めてその世界を調べ尽くされるという。「知らないことを知る。新しいことを知るのっておもしろいでしょ。」伴さんの脚本家としての歩み、表現者としてのお話を六本木のカフェで伺った。

(取材：高39回 岩瀬智子)

まだまだ勉強!

戦っていて、作劇の勉強になる。幕構成を使うなど、スピード感を重視されている。

中学・高校時代から映画に親しみ、大学時代のある1年間には最高で411本観たとおっしゃる伴さん。好きな映画は何度も観たり、シナリオを書き起こして分析したりという青春時代をすごされた。現在は芝居を観ることが多く、昨年1月から取材時の11月上旬までですでに100本ほど。惹かれた演目には、劇団の大小にかかわらず足を運ばれるそう。「最近の、いろいろな意味で保守的なTVDドラマよりお芝居のほうが、刺激的。新しいことに挑

別の職業は考えられない?

就職せず脚本作成の腕を磨く

「脚本家にならなかつたら、何にならなかつたか、何にならなかつたか」との問いには、「(思案)：何だろう。」脚本家になるべくしてなされたように拝察した。大学進学を考えたとき、志望したのは日大芸術学部映画学科の脚本コース。いわば趣味の延長を勉強できるということで受験し合格。その日大では、高校時代にその脚本に憧れた脚本家の石森史郎氏が教鞭をとっておられたという。そして入学後は希望どおりに石森氏のクラスに入ることができたそう。

脚本家は六本木の街が似合う?!



伴一彦さん プロフィール

西南学院中学出身。高25回卒。日本大学芸術学部映画学科脚本コース卒。主な作品に「うちの子にかぎって…」/「パパはニュースキャスター」「逢いたい時にあなたはこない」「透明人間」「スチュワーズ刑事」「WITH LOVE」「レッツ・ゴー!永田町」「サイコドクター」「恋する京都」「喰いタン」「七瀬ふたたび」など。2時間サスペンスドラマ「スチュワーズ刑事」では、ドラマに取り上げた国や土地、出されたメニューまで後を追うファンもいるとか。脚本と演出が相まって、知らない世界を「自分も体験したい」と視聴者に思わせる一この仕事ならではの醍醐味を満喫中。



30代の伴さん

若い後輩や在校生への皆さんへ

「将来進むべき道や、どの分野に興味があるかどうか分からない人もいるだろうが、とにかく図書館に行ってたくさんの本を読むこと。ご自身も高校生の時に先生から「本を読む時間はだんだんなくなる、今のうちに読んでおきなさいよ」とアドバイスをもらったとのこと。言われた当時は「…と言われても、時間はあるよなあ」と。今になってわかるようになったが、時間は本当に足りないと感じておっしゃる。

# 新会長あさぼらけ

## 癒しが多く、「会員でよかった」という

### 帰属意識が持てる同窓会についてインタビュー！

佐伯尚孝(高5回)

「なつかしか〜」。この博多弁が大好きです。そして、この数年、この言葉を使う機会、聞く機会が多くなったのは、やはり年をとったということでしょうか。

後期高齢者の仲間入りの年に、無謀にもこの伝統ある東京福中・福高同窓会の会長をお引き受けするなどは…といまさらながら反省しています。が、任期3年。みなさまのご指導とご協力をいただき、懸命に務めてまいりますので、よろしくお願いたします。

この真面目な会員(?)となりまし。今、この自分の年々の変化を思い起こすとき、まさに同窓会のあり方、良さはここに集約されているように思います。

体制は本当に立派にできていると感心しています。第二の財政基盤、これも馬場前会長と各常任幹事のご努力により、年々充



私と同窓会がうまく運営されていくために大きく三つほどの要素が必要と思っております。一つは同窓会のために日頃その労をとってくださる常任幹事とその体制ができてい

関西に長く勤務いたしましたので、いつから東京福中・福高同窓会に入っていたのか定かでないという頼りない会長です。したがって、年次総会への出席も最初の頃は時折気が向いたら、というような不真面目な会員でありました。しかし、ときが経つにつれ、

率直な実感ですが、第一の常任幹事会とその運営

実してまいりました。しかし、一番重要なことは、参加して楽しい、福中・福高卒業生の輪の中にい

若くてワーカホリックの時代は、同窓会の活動への参加もなかなかままならないものです。私もその典型でした。しかし、そのなかで常任幹事や当番幹事を務めながら、同窓会活動を支えてくださっている若い方々には、心から敬服いたします。

会長としてなごできるのかというよりも、この優れた執行部の皆さんと協力して、会員の皆さんが東京福中・福高同窓会員でよかったと少しでも思えるような、そんな会の運営に努めてまいりたいと思っております。特に中年の頃より心のよりどころとして、私の人生を支えてくれた東京福中・福高同窓会にささやかな恩返しできればと思っております。このとげとげしい世の中ですが、わが同窓会活動を通じて、少なくともこの輪の中は少しでも癒し多い会にしたいものです。

皆様のご指導とご協力、そして何よりも全員参加をよろしくお願いいたします。就任のごあいさつを申し上げます。

### 伴さんのホームページ

伴さんはアクセスフリーのホームページをお持ちである (http://www.plala.or.jp/ban/)。毎週「Now!」という記事を発信。番組の告知や取材旅行などの話題で脚本家の横顔が垣間見ることができるとともに、グルメや政治がらみの発言も多い。また、伴さんが過去に書かれた脚本が一部公開され、ドラマの脚本がまるごと読める。脚本家志望の方に、とても勉強になるページと思われるが、個人的には見損ねたドラマの脚本を読み、思いがけないラストに衝撃を受けた。見逃された方はぜひ。



りだすような緊張感、ライブ感をたつぷり味わいながら、脚本作成技術を身につけていかれたそう

直前まで大学で次のドラマに関係する市民講座を聴講していたとのこと

で、ご多忙のなか、お付き合いたいただいた次第。一年半ほど前からコンタクトをとりはじめ、やっと実現したこのインタビュー。緊張と短時間という焦りで、当方の質問や発言はかなり曖昧、たつたと思うが、言葉の意図を丁寧に確認しながら受け答えしていただいた。言葉を生業とする伴さんならではの厳しさを感じつつも、六本木の街角での写真撮影に気さくに応じてくださった優しさに感謝です。

良い出会いに恵まれるという運の強さはあるかもしれないが、大学入学以降、森村誠一や渡辺淳一の全作品の脚本の下地となるメモ書きをつくる練習を積んだというから、それができるといふ情熱は、やはり並大抵ではなかったに違いない。

チャンスと呼び込むのも実力のうち

そうしたなか、恩師や大学時代の先生方の紹介でテレビ局や映画関係者と知り合い、脚本執筆のチャンスをもたらした。テレビ脚本デビューは26歳のとき。さらに、その5か月後、につかつロマン・ポルノで映画デビュー作も公開された。

伴さんをお願いしたインタビューは1時間。「待たせ時間」に遅れま

### 次のドラマに向けて 助走中

「表現者を表現する」という、今回のインタビュー、今回のインタビューに苦しむ、十分に伴さんの魅力が届けられたかどうか不安ですが、次回作、楽しみに

新副会長あいさつ

福中・福高卒業生で良かったと思える人を一人でも多くしたい

副会長 中澤百(百子) (高8回)



高ゴルフ同好会では、先輩、後輩の垣根なくプレイを満喫し、同年代では知りえない昔話や体験談をお聞きし、大変感銘をうけました。

この度、東京同窓会の草創期より多大な貢献をなさった水月和子副会長の後任として、就任しました。戸惑いました。気の重い宿題を課せられた、越年でした。

しかし、高校卒業以来、古里を離れ関東で半世紀以上を過ごした私にとつて、この同窓会は故郷、そして青春の香りを思い出させてくれる唯一なつかしい「場」でありました。また、福友会(福中・福

この福友会の交流が縁となり、私には全く未知の美術の世界まで視野を広げ、多士済々な方々との人脈を得ることになり、お陰で私の晩年の人生を豊かなものにする事ができました。

世間知らずで、何ができるか、どこまでできるか分かりませんが、福中の福高の卒業生で良かったと思える人を一人でも多く取り組んでまいります。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

それから18年、東京同窓会は、福高が大好きな先輩、後輩の方々の並々ならぬ熱意、努力のお陰で充実し、拡大、発展してきています。この同窓会を誇らしく思うとともに、ますますの発展を心からお祈りいたします。

前会長、副会長からのメッセージ

同窓会を通じて人間学を学び、その魅力を楽しみ、伝えていこう

前会長 馬場一廣 (高3回)



古く中学の卒業生は志を抱いて上京し、その卒業生たちは自然に固まりとなり、戦後活躍された中1回卒業生の進藤一馬先輩をはじめとして大勢の先輩たちが集って、昭和23年4月に坂本英男先輩が副社長をしておられた電通本社で福中の東京同窓会の発会式を行いました。以後、不定期ではあるものの進藤先輩が上京される機会に、先輩を囲む

50余人の中卒生の人たちが集まり、校訓を誓い、校歌を歌い、博多弁で和気あいあいの集いを楽しみ喜びあつたそうです。故郷を離れた地で、母校を想い、同じ学舎で過ごした青春を振り返り、先輩後輩の輪が広がり、交友を深めていったのだと思います。

その後、中卒生が中心だった同窓会にも徐々に高卒生も参加するようになり、また高卒生の上京も増え、時の流れは中卒生が減少し、高卒生が増加して、東京福中・福高同窓会に発展することとなり、平成2年度の総会で会則が承認され、今日の東京同窓会がスタートしたのです。

私たちが一人ひとりが同窓会を通じて人間学を学び、その魅力を楽しみ、これを後輩に伝承していく責務があるだろうと思います。

私たちが一人ひとりが同窓会を通じて人間学を学び、その魅力を楽しみ、これを後輩に伝承していく責務があるだろうと思います。

忘れられない、そして嬉しい同窓会の思い出

前副会長 水月和子 (高4回)



会則が制定され、東京福中・福高同窓会が新しく発足したのは、平成2年4月のことです。翌3

年から、総会の企画、運営を当番幹事が担当することにになりました。その当番幹事は、現在のようにな十代飛びでなく、3学年連続、順送りということで、最初の当番幹事を担当したのが私も高4・5・6年生でした。

会場、開催日時は半年以上前に決めましたが、実際に準備を始めたのは総会開催の3カ月前でした。各期常任幹事に案内状を送り、出席者の呼びかけをお願いしました。同窓会旗もなく、法被もなかった時のことです。

一人でも多くの方に出席していただくためのイベントとして「福引」を企画し、景品提供を同窓生の皆様にお願ひしましたところ、出席者全員に行きわたるほど沢山の品物が集まり、嬉しい悲鳴を上げたものです。景品は大当たり用のゴルフセット、四号の絵、洋酒、ビール券などから、残念賞用のハンカチ、テレフォンカード等々でした。

前年行えなかった「博多物産の販売」のために、おきゅうと、めんたい、ラーメンなどをまず手配し、できたら梅ヶ枝餅の実演販売を希望しましたが、会場の方から断られ、当日タクシーでデパ

<直木賞に白石一文さん(高29回)> 高29回の作家、白石一文さんが『ほかならぬ人へ』で第142回直木賞を受賞しました。文藝春秋社在職時の2000年『一瞬の光』でデビュー、07年には『どれくらいの愛情』が直木賞候補作となっていました。父・一郎氏は第97回直木賞を受賞していて、同賞初の親子受賞です。おめでとうございます。



### 福中3先輩から後輩たちへのメッセージ あの困難な社会と時代を切り開いてきた 頑張りを支えた「魂」触れ感動!!

今年で戦後も65年。旧制福中卒の先輩は若い方でも80歳を迎えました。その先輩お三方から福高の後輩たちへ心こもったメッセージをいただきました。戦時下の勤労動員や食糧難、停電と灯火管制下で勉強もままならなかった学校生活、そして戦後の混乱した社会の中心になって復興を担ってこられた世代の先輩のメッセージには、それぞれに「福中生活」で培ったに違いない「相通じる魂」が詰まっています。私たちに大きな感動と元気を与えてくれます。



### 「無理だ」といわれた 「お菓子づくりの機械化」に 最後まであきらめない 「福中魂」で挑戦 増田 文彦(中22回)

「福中魂」の権化。  
私は九州大学の機械科  
を卒業後、上京し、小  
な機械工場で働く。あ  
る日ばったり旧友と出  
会い、も認められ急ピ  
ッチで普  
実演販売用の饅頭機  
の全自動化を頼まれる。  
際、実演を始めると黒  
山の人だかり。それ  
を見るすべての人の幸  
せそうな笑顔に感動、  
お菓子の機械づくり  
を生涯の仕事と決めた。  
お菓子は食べなくても  
生きられるが、お菓子  
のない暮らしは灰色の  
世界になる。

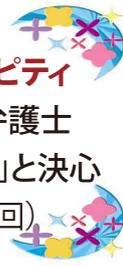
私の福中生活は大東亜戦争前後の5年間であつた。食糧事情が逼迫するなか、ラグビー部の健闘は「最後まであきらめない」な「どら焼」というお菓子があつた。その自動機械を開発して50年になる。国内だけでなく3千台稼働中、その生産額



は70億円。今でも私が名誉会長を務める(株)マスタックの一翼を担う機械だ。最近ヨーロッパでも認められ急ピッチで普及している。東京駅や羽田空港で土産菓子として最も売れている「東京ばな奈」もマスタックで提案開発、OEM生産(相手先ブランドによる生産)している商品だ。わずか3人で始めた会社も、創立53周年を迎えて300人規模の会社に成長させていた。お菓子は極めてデリケートで「機械化は無理だ」とよく言われる。「つくってやるうじやないか」と闘志が湧く。「そのお菓子づくりをもっと美味しく新しく」をモットーに『最後まであきらめない福中魂』で取り組んだおかげで克服できた

自覚している。同窓のみなさまの健康とご活躍をこころから祈ってやまない。

### 自分にできるセレンディピティ 「一生手を抜かないで弁護士 の仕事をするこそ」と決心 宮原 守男(中26回)



セレンディピティ(Serendipity)とは、ものをうまく見つけ出す能力、掘り出し上手という意味である。18世紀のイギリスのゴシック小説の草分けであるホレス・ウォールポールが、『セレンディップの三人の王子』(セレンディップはスリランカの旧称セイロンの独立前の古名で「光り輝く島」の意)の中で次ページへ続く

### 教師生活33年の記 高校教員になったのは 「充実した福高時代」 があったから 濱井 清之(高24回)



濱井 清之(高24回)

千葉県の高専学校教員として33年、現在は千葉県立佐倉西高校の校長をしています。私が高校教員を志望したきっかけは、福高時代の高校生活が充実していたことに尽きます。そして、学園ドラマの影響か、教師になるなら高等学校と決めていました。その頃、福高からは3〜4年に1人しか進学しない千葉県内の国立大学に進学し、そのまま千葉県公立高校の教員になりました。

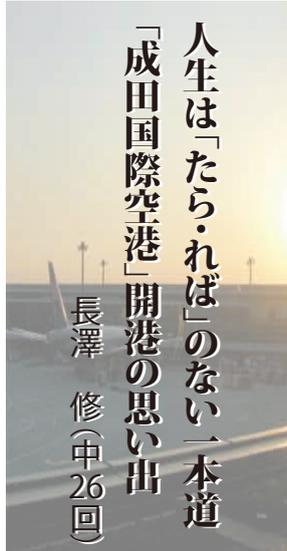


高校・大学と野球部だった私は、その後25年間にわたり高校野球の監督として県内数校の野球部を指導しました。決して強いチームではありませんでしたが、特別に選手を集めるでもなく、本

に野球が好きでな生徒が、勉学との両立を図りながら全力を傾ける、そんな高校野球本来の姿を目指しました。彼らに自分の高校時代の姿を重ねつつ、福高の後輩と野球に取り組みでいるような感覚の毎日でした。現在は直接指導はできませんが、この経験を生かし、千葉県高等学校野球連盟副会長として県高校野球全般の運営に携わっています。福高時代は、当時隆盛を極めていたラグビー部の傍らで、内野程度しか使用できず、ラグビー部の練習終了後に暗い中で外野まで使った練習したものでした(写真・前列)。また、学校現場も厳しい社会情勢を反映して、難しい運営を強いられるのが現状です。そんな中で、あくまで生徒たちの自主性を重んじつつ、福高時代に培った努力と工夫の精神で乗り切っていくと考えています。加えて、長年教育界のみで生きてきた私にとって、東京福中・福高同窓会での各種イベントなどを通じての交流は、多方面にわたる先輩後輩諸氏の経験や人脈など大いに助けられるものとなつていきます。今後も、同窓会の皆さんのお力を借りつつ、未来を担い、たくましく生きる力を備えた若者の育成に精いっぱい尽力していこうと思つていきます。



私は戦後、わが国が主権を回復してまもない昭和28(1953)年から



# 人生は「たら・れば」のない一本道

長澤 修(中26回)

で物語の主人公たちのもつ能力を彼の造語である「セレンドイビティ」という言葉で表現したことに由来する。

以下は、その「セレンドイビティ」についての私の思いと思いの一端である。

私は弁護士2年目に東京大学大学院の修士課程に入りなおした。入学試験は100点満点のところ50点しかとれなかったのだが、試験官の兼子一先生のお情けで、弁護士業務をしなが大学院に通った。いわゆる二足のわら

いところで、新堂君のようにはなれないと、全くの絶望感に陥り、学者の道はとも無理だと思った。では、人並み以上の弁護士、さらにエキスパートになるために何ができるのだろうか考えた。それは弁護士としての仕事で手を抜かないことだと思いついた。

すでに警察官では職務に殉じて命を落とされた人たちが出ており、現場の職員の生命を護ることも私にとって喫緊の課題であった。

職員の叡智を集めて対策を練り、大蔵省(現財務省)に三拜九拝して、防護施設設置の予算を確保し、関東各県の警察を走り回って施設の防護をお願いした。過激派は夜間に襲ってくるので、対策会議は徹夜の連続となった。開港までもう一歩

そんな興味深い彼らの中から、武蔵野音楽大学音楽学部音楽教育学科に通う岩佐友里香さんに話を聞きました。

ほと前に現役を退いた。ゼロから再出発した民間航空が今日の姿に発展していく道程

私は戦後、わが国が主権を回復してまもない昭和28(1953)年から運輸省(現国土交通省)や航空会社などで民間航空一筋の道を歩み、10年

就任早々、空港建設に反対する過激派集団の妨害を受けつつも、空港の完成へ向けて懸命の努力を続けた。

成田空港の本体施設は、新東京国際空港公団(現成田国際空港株式会社)がつくったが、空港を運営するための管制施設や空港周辺、関東一円に点

夜間一人勤務で運用をする施設も多く、これらの人里離れた地域の施設は、たびたび過激派の火炎瓶攻撃の標的にされた。

人生は「たら・れば」のない一本道。何らかの参考になれば幸いである。



岩佐さん

**プレーバック**  
2009.4.18  
個性あふれる後輩たちに幸あれ!

社会人1年生の  
雑感と  
社会人25年生から  
のメッセージ

# 喜 怒 哀 楽

はたらく  
リストラ



[1年生 井村 円香(高56回)]  
反省と受け流しの日々。  
楽しみと嘆き、  
どっちも着実に増えそう

早いもので、大学1年から参加させていただいた広報委員会の活動もこの4月で丸5年です。私自身は昨年3月にそれなりに楽しんだ大学生活を無事に終え、4月には順当に社会人になりました。今回、「新社会人のぼやき」というテーマをいただきましたので、社会人生活の様子や人間関係について述べてさせていただきます。

まず、社会人になって生活は超不健康から超健康へと劇的に変化しました。大学時代は夜中3時に寝て昼12時に起きる生活だったのが、現在は夜

11時に就寝、朝6時起きる生活。毎週、同期とウォーキングをし、会社の体育系部活動にも頻繁に顔を出しています。そのような生活に、当初は爽やかな気分とともにどことなくげんなりしたのですが、今は特になんとも思わずにその毎日を繰り返しています。

続いて人間関係は、現在のとこめぐまれていきます。新入社員は、統計的に人間関係で悩む確率が高いことになっていますが、プライベートでも同期と遊ぶなど、今のところ非常に楽しく日々を過ごしています。などと言うと、いいことばかりのように思えますけれど、それはやはり会社生活、それなりに不条理に見舞われることもあります。そのような時には反省すべきは反省し、受け流すべきは受け流し、と心の中で唱えながら毎朝電車に乗り込んでいます。

もう定時に帰る生活は終えたものの、実はこの原稿を書いている時点で

は、まだ研修中。本当の意味で社会に出たとは言えません。今後は私の楽しみ、嘆きは両方とも着実に増えていくのでは

お互い人生航海中。たまに元気を確かめ合いながら一献傾けよう

一献傾けよう

本当に早いもので、昨年8月の朝ぼらけの編集会議に、井村さんが社会人になって初めて出席されたときは、随分社会人らしくなったな、と思つたものです。編集委員としてのおつきあいが4年だったことを考えると、そしてその間、女子大生としてのアイデンティティをきっちり維持していたことを思うと、社会人生活でのご苦労が偲ばれました。

例えば、自分が大学を卒業し、社会人になったのが25年前。麻雀と映画鑑賞と居酒屋通いに明け暮れていた学生生活から暮れていた学生生活から社会人生活への越境がうまくいかず、午前中はいつも舟を漕いでいては、直属の課長から怒鳴られまくっていた自分と違つ

て、早々と新生活に馴染んでいるご様子。意外と世慣れているじゃないですか。でも、ご自身もお書きのように、本当に大変なのはこれからです。会社から見れば、新入社員はまだまだ「お客さん

みたいなもの。これから責任が明解な仕事を任せられ、そして、後輩たちが入社してくるようになれば、緊張感が格段に上がってくると思います。

失敗もするだろうし、激しく落ち込むこともあるでしょう。しかし、それは当たり前。むしろ順調すぎて、壁にぶつからない方が、後々手痛いしつぺ返しを受けることになるかもしれません。そんなときに、もしかしたら福高の同窓生が助けて

くれるかもしれません。同窓生で困ったときに、意外な形で助けてくれるものです。僕もそうでしたから。

何はともあれ、無事な船出、おめでとうございます。これからどういう航路をたどっていくのでしょうか。僕もまた航海中です。たまには同じところに寄港して、お互いの元気を確認しながら、一献を交わしましょうね。

突然のリストラ・失業を経験  
この経験は  
対岸の火事か?!  
今は再就職  
森岡 輝雄(高35回)

2008年12月失業。22年間ほど勤めた会社であつた。リストラ宣告は11月1日。

さて、この事実をどう妻に伝えるか。家には中2の娘と小5の息子がいる。住宅ローンもあと約30年。

途方に暮れた。その夜は行きつけのスナックに行き、プレミアム・バーボンのハーバーを飲んだ。しかし、妙案は浮かばな

かった。いつもはしたことがないが、大野城市に住む姉にメールをした。「リストラされた。女房にどう伝えていいかわからん」

しばらくメールの返信がなかった。送った文面を改めて見て気づいた。うっかりして妻に送信していたのだ。

翌日、妻から「話がある」と切り出された。覚悟を決め、包み隠さずありのままを話すことにした。

「わざと間違えたのか」「本当に間違えた」とすると、妻が意外なことを口にした。





イベント事業

ミューズは0~70歳までのモデル・タレント・役者・MC・イベントコンパニオンが在籍しています。

■専属タレント

橋元優菜~はしもとゆな~  
ガーデン系パストアイドル  
オフィシャルブログ+UNITE+  
<http://ameblo.jp/takahashiyuu/>



橋元優菜  
maxi single  
『Violet Kiss』  
好評発売中



子役モデル  
大澤まいのちゃん(7)  
活躍中!

株式会社ミューズ



代表取締役  
大澤美保子(旧姓:永江)高36回

〒107-0062  
東京都港区南青山 2-9-25  
ラポール青山 202  
TEL.03-5772-3300  
FAX.03-5410-3323  
Mail info@muse-sava.com  
HP www.muse-sava.com

多品種少量生産向機械総合メーカー

省力化の水先案内人



- ・液体・粘体充填機
- ・チューブ充填機
- ・キャッパー
- ・各種自動機
- ・ボルト洗浄機



取締役会長 柴田智恵子 (高6回)

シバタエンジニアリング

〒234-0055 神奈川県横浜市港南区日野南2-21-6  
TEL.045-835-2577 FAX.045-835-2578

[www.shibataeng.co.jp](http://www.shibataeng.co.jp)

ラーメン事業



らーめんむつみ屋  
青山一丁目店

〒170-0061  
東京都港区北青山 1-3-3-B1F  
TEL.03-3497-1601  
※「青山一丁目駅」徒歩1分

居酒屋事業



串こまち 赤坂本店

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-2-2-1F  
TEL: 03-5114-3355  
※「赤坂見附駅」徒歩2分

串こまち 新宿三丁目店

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-7-3-2F  
TEL.03-5363-6701  
※「新宿三丁目駅」徒歩1分



外部支援サイト

本業を辞めずに飲食開業を目指す方向けの応援サイト  
週末飲食オーナー倶楽部

週末飲食

検索

<http://www.inshokuowner.net/>

※福中・福高卒業生の方、サービス致しますのでお気軽にご連絡下さい!

きゅう かい  
休の会

年に一度の世代を超えた飲み会  
高9, 19, 29, 39回2002年度の  
当番幹事会メンバーが中心  
になり、つどっています。

代表世話人  
中村英樹 (高29回)

高14回  
とうきょう  
寿士会  
たい!

のぞいてみてほしかと  
<http://d.hatena.ne.jp/Tokyo14kai/>

船出会

(高27回)

たまには博多に  
帰ってこんね。  
待とうよ!



辰巳会  
福高11回同窓会  
東京支部

株式会社  
三菱東京UFJ銀行

名誉顧問

佐伯 尚孝

(高5回)

馬場・澤田法律事務所  
Baba&Swada Law Office

馬場 一廣  
(高3回)

〒105-0003  
東京都港区西新橋 2丁目16番地 2号  
全国たばこセンタービル7階  
TEL:03-3437-3005(代)  
FAX:03-3432-5070  
URL:www.b-slawa.com/



福岡市有形文化財  
住吉神社能楽殿

(福岡市博多区住吉 住吉神社境内)

昭和13年に建てられた総檜造  
の能舞台は、屈指の名舞台とし  
て全国に知られていました。  
老朽化し、顧みられなくなった  
この舞台の保存活用運動に取り  
組んでいます。

能楽師  
重要無形文化財保持者 白坂 保行(高39回)

東京・福互交會

高5回

ぷいせんはいぶ

加茂 千絵  
(高29回)

810-0801  
福岡市博多区中洲二丁目4-20  
第21ポールスタービル2F  
(092)263-0146

**HSBC**  since 1866 in Japan

時価総額世界第1位の英国系金融グループ

香港上海銀行

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目11番1号  
HSBCビルディング  
電話 03-5203-3000(代表)  
<http://www.hsbc.co.jp>

在日副代表兼副CEO 山田 晴信(高20回)

博多 登録 商標 

◇ 築地本店  
Tel 03-3541-0811

別館(築地本店のうら手)

◇ 新三浦ガーデン  
Tel 03-3541-0141

東京 **新三浦**  
中央区築地1-8-1  
白井 善三郎(高3回)

築地本店は、落ち着いた個室  
別館ガーデンは、お気軽にご利用下さい

博多へお帰りの際は、ぜひご利用ください。

**ふるさと博多で  
特別なひととき。**

PRE  
S  
IDENT  
HOTEL HAKATA

**プレジデントホテル博多**

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-23-5 TEL 092-441-8811 FAX 092-441-8662  
URL: <http://www.presidenthotel-hakata.co.jp>

友杉 貴一(高16回)

博中・福岡同窓会の指定ホテルとしてご利用ください。

 **chair**  
bar

宮脇利泰(高26回)

中央区銀座4-10-1 ソカロ銀座8F 03-3545-0897  
<http://www.barchair.jp>

ワインが美味しい  
マクロビ・ビストロ

ラ・ロンジェヴィテ(不老長寿)

*La Longevite*

中村 淳(高校31回)

伝えたい**想い**  
ありませんか?

自分史・エッセイ・研究論文・  
紀行文・詩歌集・小説・創立記  
念誌・その他、企画づくりや原  
稿のまとめなど、お手伝いさせ  
ていただきます。

福士義彦(高14回)

成長企業の財務面からの経営コンサルティング

**株式会社 アヴァルセック**

All Value Securitization = AVALSEC  
企業が保有するあらゆる資産価値の証券化を  
アレンジメント



本部 〒105-0013  
東京都港区浜松町2-1-18 トップビル3F 代表取締役  
電話 03-5777-1500 FAX 03-5777-1501 有田 明浩(高30回)

本社 〒813-0011  
福岡県福岡市東区香椎1-8-20 Eメール arita@avalsec.co.jp  
電話 092-681-2408 FAX 092-402-1525 URL <http://www.avalsec.co.jp>

おいしきひとすじ、  
健康に良いお菓子を...

五十二萬石  
築業匠  如木庵

森 恍次郎(高18回) 森 英俊(高44回)  
松田 知子(高18回)  
佐藤 理子(高45回) 旧姓: 池田

TEL (092) 431-0052(代)  
<http://www.52-net.com>

アトピー性皮膚炎は  
なぜ治らなかったのか  
木村和弘 著

〒107-0061 港区北青山1-4-1  
(株) ランジェ 青山808

**トロント**

☎ 03-3408-1521  
FAX 03-3408-1448 

<http://www1.u-netsurf.ne.jp/~AF100393/toronto/>

日本の原風景福岡・朝倉。その自然を享受する。

みなぎもり  
**美奈宜の杜**  
九州・福岡発、日本初のアクティブシニアタウン。

福岡市内から車で約45分(高速利用)

人生のご褒美に、  
温泉付き週末住宅。

温泉付き宅地分譲...616.4万円(70.69坪)~

【客室主として建物所有・管理代行】電通委員会 福岡県知事(公)第12009号 (土地所有主)  
【社】福岡県宅地建物取引業委員会 九州不動産公正取引協議会加盟 電通委員会(分譲)第2297号

西日本ビル株式会社 大分シティ開発株式会社 美奈宜の杜販売センター

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-17 〒870-0173 大分市公園通り3-1-2 〒838-0020 福岡県朝倉市美奈宜の杜5-12-20  
TEL:092-741-0731 TEL:097-524-6981 TEL:0946(21)1717

体験宿泊・資料請求は  
FreeDial **0120(005)337**

体験宿泊・資料請求  
詳しくはウェブで

[www.minaginomori.com](http://www.minaginomori.com)

心は今でも福高生

# 八起会

(高8回)

関東支部 世話係  
高田 忠重 豊原 亞洲  
柴田 斎 亀山 忠義

## 東京・高四陽会

今年75、後期高齢者となる。  
インドでは、遊学期と言い、  
遊んで暮して、だんだんと  
子供に近づくと云う。

頑張ろうぜ！  
皆の衆




Asahi アサヒビール株式会社

会長 池田 弘一  
(高11回)

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1丁目23番1号  
電話：03-5608-5111(代表番号)  
<http://www.asahibeer.co.jp/>

## くが 脳神経外科 クリニック

院長 空閑茂樹  
(高18回)

〒819-0041  
福岡市西区拾六町5-17-17  
Tel 092-894-3777  
FAX 092-894-3788

FIRST DESIGN NETWORK

商業施設・オフィス・ショールーム  
デザイン・設計

代表取締役  
岡本博幸 (高20回)

東京都渋谷区恵比寿1-23-9  
〒150-0013  
TEL: 03-5423-5150  
FAX: 03-5423-5160  
E-mail: okamoto@f-d-n.co.jp

アサヒビール本社すぐ近く

## 浅草うつつのみや亭

今話題の餃子専門店

本店 〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋1-15-4  
TEL & FAX 03-5610-2055  
<http://www.asakusa-utsunomiyatei.jp>



株式会社 ケイ・アイ・ヘルス アンド ビューティー  
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-34-2  
ヒルクレスト駒込ビル809号室  
TEL 03-5319-4539 FAX 03-5319-4537  
<http://www.ki-hb.jp>

代表取締役 大屋克文 (高24回) 携帯 TEL 080-6688-0901

(洗顔石鹸：深海の精)

福高10回 東京同期会

# 東京福寿会

会長 瓜生 喜久雄

## 林・土井 国際特許事務所

弁理士  
土井 健二 (高26回)

〒222-0033  
横浜市港北区新横浜3-9-5  
第三東昇ビル3階  
電話 045-475-2351  
URL <http://www.hayashidoi.com>

## 黒永会計事務所

税理士 黒永 哲至 (高26回)

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿7-21-21  
西新宿成和ビル3F

TEL 03-3363-0118  
FAX 03-3363-0366  
<http://www.kuronaga-ac.com/>

# 東京にしき会

(高24回)

代表団  
濱井 清之, 中川 保子  
松原 昌平, 森 達也  
野元 浩(常任幹事)

板橋区サンシティ

## 団地同窓会



大石 勇吉 (高1回)  
内田 明子 (高15回)  
吉村 光正 (高20回)

## 石寄信憲 法律事務所

弁護士  
石寄信憲 (高19回)

〒104-0028  
東京都中央区八重洲2-8-7  
福岡ビル6F

TEL 03-3272-2821  
FAX 03-3272-2991

博多に行ったら

## 丸山 陽子 さん (高7回)

# 陽子の部屋

〒810-0801  
福岡市博多中洲2丁目1-5  
陽光ビル5F

TEL (092) 271-2646 飲んで  
TEL・FAX (092) 271-2664 語ろう!!

東京「陽子の部屋」応援団  
団長 福士義彦(高14回)

## 原口法律事務所

弁護士 原口 紘一 (高15回)

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿7-20-16  
ダイカンプラザシティII 304  
TEL 03-3361-9633  
FAX 03-3369-6664

◇◇◇◇◇ 編集後記 1 ◇◇◇◇◇

■2019年の第9回ラグビーW杯の日本開催が決まりました。ラグビーにかかわって60年と、前回の巻頭に登場いただいた白井先輩の記事に、あらためて感動しました。

(高7回・黒田義治)

■高校の同窓会は毎年だけど、昨年は35年ぶりの中学の同窓会、10年ぶりの大学の同窓会にも参加しました。いろいろな意味で人生棚卸しの年だった。今年は50だもんな。

(高31回・中村 淳)

■編集・広告活動を通して多くの同窓生にお会いすることができ、感謝。それぞれに歴史あり。壮絶な試練との格闘や友情にロマン。Next Oneも乞うご期待。

(高29回・古賀芳和)

■退職金を「宝くじ」では危ないので、確実と思えた「えんどル君プラス」一時払い保険(年金型)に夢を託したが、リーマンショック、ドバイショック、鳩山ショックで夢破れお先真っ暗な元戦士。

(高22回・上田正文)

■早いもので、社会人になって1年が過ぎようとしています。生活はどんどん変化していきませんが、編集委員としては今後も頑張っていけます。宜しくお願いたします。

(高56回・井村円香)

■広報委員会、総会・懇親会の当番幹事、社会人1年目でそれぞれにかける時間や労力が分散してしまった感がある昨年。それぞれが中途半端にならないようにしていきたい。

(高57回・酒匂貴市)

# オールドラガーメン楽しく燃える！ ゴールデンオールデイズ世界大会 開催の夢に奔走!!!

内山 健三(高15回)

「おい、何時の勝田線に乗るや?」「ちよつと遅れたけん、次んとにしよ」そんな3年生の会話を聞きながら(ああ、また小一時間しごかれる!)という毎日を送っていた高校1年の頃:福中8回生のラグーマンである父から半ば強制的にラグビー部に放り込まれて以来、私にとってラグビーとはその殆どが苦しいものであった。幸いにも全国大会に出場し、とりあえず父の期待の一部は満たせたと考え、大学時代は全くラグビーと離れた生活をしていた。にもかかわらず、社会人になって入社した会社にラグビー部があり、やむを得ずに再開した。ところが、これが何とも楽しい「草ラグビー」で、結局、本来は楽しいスポーツであることに目覚めて、以後40年にわたって続けることになった。

この光景を初めて目にしたときから、私のゴールデンオールデイズ世界大会との付き合いが始まった。2年に一度、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、イングランド、ドイツ、イタリア等々世界20数カ国から35歳以上のプレーヤーとその家族が集まり、8日間の夢のような

が嬉々として走り回り、タックルし、スクラムを組んでいる。スコアも付けない、勝敗も関係なし、ただただ試合後の懇親会でのビールとワインと世間的仲間との会話だけを楽しまに集まってきた、オールドラガーメン。

カナダのトロント。目の前の20面ほどのグラウンドで、様々な色鮮やかなジャージを纏った面々



「エジンバラ大会」にて日本チームの仲間と(後列左から4番目)

の楽しみ」を続けてきている。1948年に、世界で初めて「高齢者ラグビーチーム」を作った日本が手本となり、今までに17回を迎えたこの大会を何としても日本で、それも福岡で開催したいと思

い、多くの仲間(同級生や、先輩、後輩)に支えられて活動を開始した。何よりも同一地区に最低15面の芝のグラウンドが必要という厳しい条件をクリアすることが第一条件である。東京時代にも開催を画策したが、様々な人脈を通じて、やっとたどり着いた河川敷ゴルフ場の使用も、その営業補償の高額さに断念し、ほぼあきらめかけたところだった7年前に福岡勤務を命ぜられた。

帰郷を歓迎して福岡の旧友が開いてくれた同窓会の席で、議員生活が長かったF君から私の夢の実現のために「国営公園」を紹介してもらった

ところから、このプロジェクトがスタートした。雁ノ巣周辺に15面ほどのグラウンドの可能性があること、コンベンションの施設・組織がすでにF君が作り上げていたこと、シヨッピング機能が完備していること、宿泊余力が十分にあること、等を皆で確認し、開催都市として立候補することを決めたのが6年前。

2008年度の開催を目指したがスコットランドに負け、一度断念したが再度の立候補を世界事務局から打診され、再度

挑戦を始めて以来、九州ラグビー協会、県、市、財界、マスコミと、あらゆるところに相談に行き協力をお願いしながら現在に至っている。

2012年開催には世界中で8都市が立候補しており、想像以上に厳しい状況。なにしろ、4〜5千人のラグーマンが大会運営費を持ち寄って1週間滞在するその経済効果は30億円にも達しようかというところだから、どの都市も必死に招致に力を注ぐわけである。

2月立候補締め切り、3月開催都市決定というスケジュールなので本紙では結果をお伝えできないが、各人が負担する参加費をできるだけ低額にするため、州や市が経済的面倒をみるという競合都市が出てきているのに対して、我が国の厳しい経済環境下では、その対抗策を講じるのに苦労しているのが現状である。

それでも、目の前に「夢」が見えている今、最後の力を振り絞って実現を目指している。良いお知らせができることを念じつつ――。

その結果を、かつての松茸の名産地、京都市郊外の山で見た。仲間たちと山の再生、復活作業に出かけた晩秋のアカマツ林の光景は異様だった。樹齢50〜100年にもなる見事なはずのアカマツがどうもこれも枯れて赤茶けたまま立ち、あるいは倒れた姿は、これが死屍累々ということかと思わせた。堆積した腐葉土の掻き出し作業を汗だくで続けながらボクは、改めてこの国のバランスの悪さを思った。

ボクは今、松茸山(アカマツ林)を復活させる運動の、ささやかなサポーターに加わっている。国産松茸は、かつて年間1

万2千トも採れたが、今やわずかに数十トにまで激減して久しい。それこそ絶滅危惧種である。

昭和30年代のエネルギー革命と大都市への人口集中によって、アカマツ林のある中山間地(里山地帯は急速に過疎化し、人手の入らない山は一挙に荒れてしまった。積もった落ち葉で山の富栄養化が進む。すると、肥えた土壌の嫌いなマツタケ菌は生活困難になる。共生関係にあったアカマツも、マツタケ菌からの栄養素の補給が要らなくなつて、根っこはマツタケ菌を見て

**松茸山“復活させ隊”サポーターとして  
アカマツとマツタケ菌の  
叫びが聞こえるような  
福士 義彦(高14回)**





### 第4回 福高塾 開催

**JAXA井上浩三郎さん(高10回)が 宇宙とロケットの講演**

**「日本の宇宙開発は 長さ23センチのペンシルロケット 実験から始まった」**



企画委員会は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究本部共同研究員である井上浩三郎さん(高10回)をお招きし、11月13日、すみだ産業会館で第4回福高塾を開催しました。

当日は生憎の雨模様でしたが、40名近い参加者にお集まりいただき、予定通り講演を始めることができました。

講演は、09年が「世界天文年」であることや、HTV(宇宙ステーション)に物資を届ける無人輸送船)の打ち上げが行われたことなどから始まり、日本の宇宙開発草創期の話、科学衛星技術の歩みへと続きました。

宇宙飛行士、若田光一さんによる日本人初の宇宙長期滞在や、46年ぶりに日本での皆既日食の観測があった昨年。宇宙への関心が大いに高まっているなかで、わが国の宇宙開発の草創期から携わってこられた井上さんに、神秘に満ちた宇宙が徐々に解明されていくその経緯を、貴重な映像を交えながらお話しいただ

きました。当日は生憎の雨模様でしたが、40名近い参加者にお集まりいただき、予定通り講演を始めることができました。

講演は、09年が「世界天文年」であることや、HTV(宇宙ステーション)に物資を届ける無人輸送船)の打ち上げが行われたことなどから始まり、日本の宇宙開発草創期の話、科学衛星技術の歩みへと続きました。

日本の宇宙開発の先駆けとなった1955年に発射された長さ23cmのペンシルロケット実験のこの映像を見せていただいた

後には、井上さんの専門で

今後10年で行われる予定の宇宙開発計画などを



**井上 浩三郎さん**  
(いのうえこうさぶろう) プロフィール

1939年生まれ。63年東京大学生産技術研究所入所、改組により同大学宇宙航空研究所、文部科学省宇宙科学研究所勤務等を経て、2003年定年退職。この間、40数年にわたり日本の宇宙開発の草創期から、ロケットと科学衛星、探査機の研究開発に携わる。日本初の人工衛星「おおすみ」をはじめ多数のロケット・科学衛星、探査機の打上げに参加。専門は宇宙通信工学。



鹿兒島県内之浦にある研究所での研究・開発の体験談、アメリカVSソ連という20世紀の宇宙開発の構図、日本初の人工衛星「おおすみ」(M(ミュー)ロケット、衛星「はやぶさ」と小惑星「イトカワ」など、当時の写真や映像を交えつつ、お話しいただきました。特に「はやぶさ」と「イトカワ」のところでは、宇宙事業の緻密さや、トラブルに対応する臨機応変さには感嘆せざるを得ませんでした。

ある宇宙通信技術についてもお聞きしました。数式などが多く使われる難しい話にも関わらず、参加者は映し出されるスライドの一枚一枚をデジタルカメラで撮るなど、みんな熱心に聴き入り、進歩し続ける科学技術に驚きの声をあげつつ、大いなる宇宙へと想いを馳せていました。

約100分、時間いっぱい密度の高い講演をしていただき、最後は大拍手で終了しました。

恒例の講演後の懇親会(写真)には、ほとんどの方に参加いただきました。時間が足りずに設けることのできなかつた井上さんへの質疑応答をはじめ、講演で印象に残ったこと、で引つ張ってもらった賜物でもありません。私、高校5回卒で75歳になりまして、ゴルフも段々下手になっていく今日この頃。最後は、これまた恒例

優勝はハンディキャップをたくさん頂いたお陰ですが、一緒に廻ってもらった同伴者からの激励で引つ張ってもらった賜物でもありません。私、高校5回卒で75歳になりまして、ゴルフも段々下手になっていく今日この頃。最後は、これまた恒例

優勝はハンディキャップをたくさん頂いたお陰ですが、一緒に廻ってもらった同伴者からの激励で引つ張ってもらった賜物でもありません。私、高校5回卒で75歳になりまして、ゴルフも段々下手になっていく今日この頃。最後は、これまた恒例

最後は、これまた恒例

### 第28回福友会ゴルフコンペ 福高時代の思い出を 呼び起こす 「おめでとう！」

優勝者 大島 嘉矩 (高5回)

平成21年11月6日(金)第28回福友会ゴルフコンペが立川国際カントリークラブで行われました。快晴のなか16名でゴルフを楽しみました。

風呂から上がり表彰会場に行くと、参加者全員に拍手で迎えられました。やや不意をつかれ、何だろうと思いつき席に着くと優勝のお祝いでした。「おめでとう！」という言葉は何回聞いても素晴らしい。



大島さん



毎年大いに盛り上がる  
**「東京七福会」**  
 列席の恩師の記憶力の良さに感銘  
おとおと  
 大音 康毅(高7回)

**中村哲さんから**  
**「砂漠にスイカが実った」の朗報**  
**ペシャワール会支援募金に感謝**  
 古賀 成治(高17回常任幹事)

荒廃したアフガン、パキスタンで復興支援活動を続ける中村哲医師、同じ高17回のわたしたちは毎年の東京福中・福高同窓会の総会・懇親会場でペシャワール会支援活動の募金をみなさんにお願ひしています。

現地の中村医師からは「用水路24キロに通り、

インタビューされて「中村哲さん」と答えたそうです。そうして「先生のご著書はすべて読ませていただいております」と。

平成21年度の懇親会の会場では、これまで最高の23万3000円の募金額となりました。みなさんのご協力を感謝いたします。今年の総会・懇親会でも募金活動を行います。引き続き同窓のみなさまのご協力をお願いいたします。

高7回生は福岡に「七福会」の事務局を置き、その支部として関東在住者で「東京七福会(東七会)」を設けています。東七会の発足は37、8年前だと記憶していますが、爾来毎年10月に定期的に集まっています。私は、その事務局(連絡係)を拝命しています。

現在の会員数は50余名。一時期は90余名を数えましたが、還暦を境に故郷に戻る人が続出。みんな72〜73歳になることから福岡に帰りたいなくなっても、これから実現するのはなかなか難しいのではないかと思います。

さて、10月初旬の土曜日昼の宴会を兼ねた定期集会には、福岡の七福会

の協力を得て恩師に列席していただいています。先生方には遠路はるばる大変なことを存じますが、私たちにはこの上ない飲みであり、みんなで楽しむにしています。

集会では、先生を前に各人がマイクを持って在学中の思い出や最近の出来事などを自由に話すとにしています。そのとき、先生も私たち教員たちのことを次々思い出しておられるようで、その記憶力の良さに感銘を受けることしきりです。

例えば、「体育祭で走っていた女子生徒が派手に転んでしまい、これを見た男子が抱き起こしに行こうとしたら、先生が先に駆け寄って医務室へ

**縁あって、再起動**  
**「会員拡充委員会」**  
 委員長です。コツコツと探し、そしてニコニコ顔をいっぱい!  
 森岡 輝雄 (高35回)

いろいろな思い出話で盛り上がり、アツという間に時間がたつてしまいました。集会后、お茶を飲みながら談笑する二次会へと続き、そこにもほぼ全員が出席します。やがて日が西に傾いたところで再会を期して散会し、三々五々家路につくことになりました。

それにしても、福高生として育んでいただいた若き時代への郷愁の念は年齢とともに深まってきました。

あれは2年半前、07年の梅雨の時期に差し掛かった頃。香椎小5年生から香椎二中、福高そして現在までの腐れ縁Tからの連絡。「東京福中・福高同窓会の幹事会に呼ばれた、一緒に来て!」と心細げな声。「それって何?」「さあ?俺もよく分からん」。不安な2人はとりあえず会合に参加しましたが、何を話し合っているのか、ちんぷんかんぷん。最後になつて「あのお、何のことか全く分からんのです」と素直な気持ちで質問。「東京におけるOB・OGの同窓会を催す。俺ら当番幹事。Do you understand?」。鬼の形相で先輩は優しくお答えになられました。

「そんなん、あつたん!」。見つめ合うTと私。「とにかく35回卒。2人では話にならん、まずは人を集めよ」。なおも先輩は鬼の形相で、かつ優しい声で、そしてゾーリングのような切れ味で付けて加えられました。それから、コツコツと大昔の卒業アルバムや部活の名簿などを活用し、なんとか20名ほど集まることになりました。鬼の形相の先

輩もニコニコ。そして今、再起動した「会員拡充委員会」に呼ばれ、何と委員長です。殊に20代、30代、40代の在京OB・OGよ。年に1回、福中・福高同窓会が催されていることをご存知か? その幹事役が10年に1度回ってきていること、ご存知か? 定期的に各学年の常任幹事が集い会議を行っていることをご存知か? Anderson! Hereweg. 関東に住しながらもそのことを全く知らずにいてはもつたいない。同学年はもとより、先輩、後輩と再会しましょう。近況を伝え合い、たまには皆で飲みましょう!

私共(会員拡充委員会)は、こうしたOB・OGを探し出し、同窓会の楽しい諸々を知って頂きたいと活動を始めました。東京同窓会のHPでも新会員の登録、そして変更ができます(TOPPペーJの右上辺り)私、森岡に伝えてもらってもOKです。一人では遅々として進まぬ作業だと感じてますが、ご協力頂ければあつ!という間だと思えます。埋もれている方々を白日の下に。

もちろん、この委員会

の目的はあくまでも在京のOB・OG間の親睦を図ること。会合などへの参加を強制するものではありません。

ほら、「えー! こんな近くに住んどつたん?」「ほおーそげな仕事ばしようとなね」「まだ結婚しとらんとや、よか相手ば紹介しちゃうるか」「今度、同期で集まろうぜ」「今度、〇×部のOB会はよろうぜ!」。そんな声が聞こえてくるようでしょう。みんな笑顔で。

◆◆◆編集後記2◆◆◆  
 ■同窓会を縁でいうと、造語も含め、遊縁、学縁、良縁、腐れ縁、合縁奇縁、機縁。いずれにしても不思議の世界。  
 (高14回・福土義彦)

■本号では私が表現したい世界について考えました。休むに似たりでした。が答えを見つけたような。  
 (高39回・岩瀬智子)

■新入生達は皆、志高く希望に満ち溢れています。今後成長した彼らの姿を見るのが楽しみです。  
 (高58回・大宮成彬)

■12号! 感無量です。いつ種切れかの不安をよそに益々充実。情報の集まる繋がりが出てきたのですね。  
 (高15回・原口紘一)

各委員会からの報告とお願い

●会計からの報告

馬場 紀久夫(高10回)
平成19年度より、懇親会関連の会計を特別会計として一般会計より独立させることとなり、3年が経過致しました。この間、各年次の担当者のご努力で毎年収益金を捻出し、一般会計へのご援助を頂いております。

平成22年度は中学卒、高校6回卒までの会員は年会費免除となっております。しかし、会費収入が十分ではなく、上記会費免除の先輩の皆様には寄付をお願いしております。寄付用の振込票を送らせて頂きますので宜しくお願い致します。

21年度の会費納入状況は、相変わらず10000名の壁は突破できませんでしたが、毎度のご協力をお願い致します。

平成22年度の東京福中・福高同窓会総会・懇親会は、平成22年4月10日(土)に、新会長のご配慮もあり、九段のホテルグランドパレス「ダイ

●総務委員会報告

重松 秀行(高21回)

平成22年度の東京福中・福高同窓会総会・懇親会は、平成22年4月10日(土)に、新会長のご配慮もあり、九段のホテルグランドパレス「ダイ

副会長や私ども総務委員を煽りたてる勢いです。新しい時代の新しい同窓

ヤモンドの間」にて気持ちも会場も新たに総会(14時〜)懇親会(15時〜)を開催することとなりました。

「校歌の5番まで知っておやく？」をテーマに、我が校歌を皆で歌いつつ、中学の先輩から新卒の若い皆さんまで、世代を超え心をひとつに青春を語り合おうというコンセプト。そのもとで、当番幹事の丸一・石井さん(高17回)、大屋・山田さん(高27回)をはじめとする諸先輩をリーダーとし、奇跡的な会員充実に誇示する高37回の米島さんを中心に、石井・石臥・太田・小川・古賀・定松・新川・長妻・土生・牧・松永・宮崎・村木・森・八尋さんらが中核となり、河野(高47回)・酒匂(高57回)さんなどフレッシュな人材を巻き込んで、まさに一丸となつて奮闘中です。従来の虎ノ門や市ヶ谷とはまたひと味違った全員参加型の懇親会を目指しています。

平成20年度 一般会計決算報告書

金額(円)

Table with 3 columns: 収入の部, 支出の部, 金額. Rows include 前期繰越金, 会費, 広告料, 寄付金, 雑収入, その他, 合計.

平成21年度 特別会計決算報告書

金額(円)

Table with 3 columns: 収入の部, 支出の部, 金額. Rows include 一般会計より会場費, 参加費, その他, 会場費, 企画経費, 進行経費, 動員経費, その他経費, 小計, 収益, 合計.

●広報委員会報告

酒匂 貴市(高57回)

大学1年の上京してあり経たないうちに東京福中・福高同窓会の総会・懇親会に参加しました。その時に誘われて入ったのが広報委員会でした。広報委員会の最大の仕事は、この東京あさぼらけ新聞を編集することです。8号の巻頭掲載、アサヒ

ビール社長(当時)の池田弘一さんへの取材に行き、役員の方々が使われている応接室で話をさせていただくなど、なかなか面白い経験もできました。そうして参加していると気がつけば5年目で、自分も社会人になっていました。

スモールワールドネットワークという言葉があります。広報委員会の活動を通じてそれを実感するような奇縁もありました。10号で取材した鈴木木惇君に取材を申し込む際は、まず共通の知り合いである後輩を通して連絡に活動してくる方を大募集しています。セミナーの目的を果たすことができただけではないかと思えます。昨年の委員会活動には、軌道に乗ってきた「福高塾セミナー」を、企画委員会以外の同窓会員によつて企画・運営ができる仕組みにするための検討を行うという課題がありました。9月と1月の常任幹事会では、総会・懇親会運営を行った当番幹事が、輪番制でセミナーの企画・運営を実施する等の提案を行い、常任幹事の皆さんの意見を伺いました。今年はこれらの意見をもとに「福高塾セミナー」の企画・運営面に新たな展開を図っていきたく思います。またあわせて、セミナー以外に同窓会の付加価値を高める新たな企画にチャレンジしたいと思っております。

●企画委員会報告

堤義人(高30回)

昨年の企画委員会は、委員会事業として恒例となりました福高塾セミナー(第4回)を宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究本部共同研究員である井上浩三郎さん(高10回)を講師としてお招きし、11月13日(金)に錦糸町のすみだ産業会館開催しました。当日は雨天だったにもかかわらず、高5回〜高55回の広い世代から36名の同窓会員の参加を得ることができました。また、セミナー後の懇親会には講師を含めた34名の方々に参加いただき、講師を囲んでの宇宙談議に大いに盛り上がる等、同窓会員のタテのつながりを深めるためという福高塾

では、同窓会としての活動に力を入れたいと考えています。同窓会活動の活性化には、軌道に乗ってきた「福高塾セミナー」を、企画委員会以外の同窓会員によつて企画・運営ができる仕組みにするための検討を行うという課題がありました。9月と1月の常任幹事会では、総会・懇親会運営を行った当番幹事が、輪番制でセミナーの企画・運営を実施する等の提案を行い、常任幹事の皆さんの意見を伺いました。今年はこれらの意見をもとに「福高塾セミナー」の企画・運営面に新たな展開を図っていきたく思います。またあわせて、セミナー以外に同窓会の付加価値を高める新たな企画にチャレンジしたいと思っております。

このように、一味違った経験ができるのも、広報委員会活動の特徴のひとつかもしれません。一

ご寄付・広告に お礼申し上げます

東京福中・福高同窓会では、同窓会活動に対する資金援助とさせていただきます。ご寄付の合計金額は57万円です。ご寄付をいただきまして誠にありがとうございます。

高三会(高校3年生・老萬円)

ご寄付についてのお問い合わせは、会計の馬場紀久夫(高10回:Kbaba5182@amy.hi-ho.ne.jp) 広告に関しては広報委員会の古賀芳和(高29回:kogay@lily.ocn.ne.jp)までお願いいたします。

謎????????????  
**謎&感動**  
 平成22年度同窓会総会・懇親会  
 4月10日(土) 午後2時  
**今年はホテルグランドパレス**  
**懐かしが顔ば見に来んしやい!**  
 感動!!!!!!  
 高17・27・37・47・57回当番幹事一同

09年総会・懇親会報告  
**母校の人材大集合!!**  
**435名参加で**  
**大いに盛り上がる**  
**「6の回」当番幹事一同**

“彩”と銘打ち「母校の人材大集合!!」という触れ込みを掲げた09年の東京福中・福高同窓会総会・懇親会は、4月18日(土)虎ノ門パストラルに435名

を集めて開催されました。各界で活躍される著名な同窓生がビデオやスライドでスクリーンに登場、「仮想」で大集合していただきながら、同窓生各人が母校に思いを馳せる会となりました。

ビデオで登場されたのは、医師でパキスタンに支援活動が続けるペシヤワール会代表の中村哲さん(高17回)、ミシユランガイド東京3ツ星の料亭玄治店濱田家女将の三田啓子さん(高22回)、



窓生ご提供の景品が計30名に当たる大抽選会、さ

賞受賞の小説家の藤原智美さん(高26回)、『ためんず・うおくかく』の作者でテレビでも活躍中の漫画家の倉田真由美さん(高42回)の4名。

歌手の山本健二さん(高3回)、ヨネクラボクシングジム会長の米倉健司さん(高5回)、他9名の同窓生が登場。続いては、白井善三郎さん(高3回)の博多水だき「新三浦」お食事券など、同窓生ご提供の景品が計30名に当たる大抽選会、さを表します。



無事に当番幹事の役目を果たすことができ、1年間ご支援ご協力いただいた皆さまに本紙面をお借りして深く感謝の意を表します。

まずはお互いに顔を合わせ、お互いの原点である。懐かしが顔ば見に来んしやい!

◆謎・ナゾの後には感動  
 今回のテーマは「懐かしが顔ば見に来んしやい!」な感じで、ナゾナゾのようですが、実は校歌は5番までしか知りません。これを聴いただけでアナタはもう福中・福高ツウ。知らないアナタは：同窓会の原点に振り返り懐かしんで思

◆会場が変わりました  
 例年の会場だった虎ノ門パストラルの営業停止に伴い、今年会場が変更されています。今までよく通っていた虎ノ門パストラルの営業停止に伴い、今年会場が変更されています。

◆若手も積極的に  
 学生の皆さんにも気軽に参加していただけるように、特別料金を設定しています。就活を控えた学生さんにとっては、一気にOB・OG訪問できるチャンスです。今後の同窓会発展のためにも、ぜひ若手の皆さんの積極的な参加をお待ちしています!

◆編集後記3◆  
 私達はいま、教科書上の知識でしかなかったデフレを日々体験している。経済は縮小の一途をたどる。文化は心であり、物ではない。同窓会は文化である。心までが縮小してはならない。新会長のもとで、会員拡大の努力が日々なされている。(高16回・齋藤利久)

《事務局報告》  
 黒永哲至(高26回)  
 事務局の主な業務は、総会運営と各回の常任幹事との連絡及び年3回の常任幹事会の設営です。平成21年の総会は4月18日に開催され、皆様のご協力が無事終了することができました。

平成21年の常任幹事会は、第1回を6月17日にホテルローズガーデン新館で常任幹事と役員を含め51名の参加で開催し、同窓会総会の予算・決算の審議及び反省等を行いました。

開催しました。議題は平成22年の同窓会総会・懇親会の企画及び予算を審議し、承認されました。今年は7年ぶりに会場が虎ノ門パストラルから、グランドパレスに変わります。当番幹事が面白く楽しい企画を練っていますので、ぜひ、多数参加してください。

**会費の納入のお願い**

同窓会総会の案内、「東京あさぼらけ」の送付にあわせて平成22年度会費納入(2千円)の払込取扱票(郵便振替)を同封させていただきました。払込取扱票の通信欄、ご依頼欄に卒業年次、住所、お名前、電話番号を忘れずにご記入のうえ、会費をお払込みくださるようお願いいたします。郵貯のATMでの振込みも可能ですので、ATMもご活用ください。通信欄は名簿と照合し、住所変更がある場合は名簿を訂正しています。ただし、平成22年度は中学卒、高校6回卒までの会員は会費免除です。

加入者名 東京福中福高同窓会  
 払込先口座番号 00190-4-94980  
 東京福中・福高同窓会ホームページにある「同窓会からのお知らせ会費のお支払いについて」も参照ください。ご不明な点は会計の馬場紀久夫(高10回)までご連絡下さい。メールアドレスは次のとおりです。  
**Kbaba5182@amy.hi-ho.ne.jp**